

令和 7 年 度

自己点検・評価報告書

令和 8 年 3 月 11 日

日本総合ビジネス専門学校

1. 学校理念

中庸を旨とし、勤労を尊び、職業人としての総合能力を有する人間性豊かな人材の養成

2. 経営方針

1. 経営基盤の維持強化

建学の精神を具現化して、安定した経営と教育の充実をはかる

2. 地域社会に貢献できる徹底した専門教育の展開

専門教育を一層推進し、地域社会に貢献できる人材を養成する
教職員が実りのある教育を実践する

3. 時代の流れを読み、社会のニーズにこたえる人材づくりの推進

時代の変化に即応した専門教育を推進するとともに、果敢に資格試験にチャレンジし、即戦力となる人材を養成する

3. 教育方針

(1) 国家試験や各種資格取得により、社会人に有用なスキルの醸成

(2) AI時代に必要とされる人材養成

(3) 主体性のある即戦力としての人材教育

4. 評価項目の達成及び取組状況の確認

評価方法： 4（適切） 3（ほぼ適切） 2（やや不適切） 1（不適切）

(1) 教育理念、目標、人材育成

| | 評価項目 | 評価 |
|---|--|----|
| ① | 理念・目的・育成人材像は定められているか | 4 |
| ② | 学校における職業教育の特色は何か | 4 |
| ③ | 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 3 |
| ④ | 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか | 4 |
| ⑤ | 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 |

【成果と課題】

- ・教育理念及び教育方針は学生要覧に記載されており、入学時のオリエンテーションで入学生全員に周知している。
- ・時代の変化を意識しながら教育課程編成委員会での意見を踏まえ、社会の変化に対応して授業内容を改善していく。

【今後の改善方策】

- ・教職員間の情報共有を更に密にすると同時に、社会の要請に敏感に反応できるように外部講師との企業連携からくる情報を大切にする。
- ・少人数クラスでの実践教育により、学生一人一人に教員が目を向けやすい環境を更に推進する。

(2) 学校運営

| | 評価項目 | 評価 |
|---|--|----|
| ① | 目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| ② | 事業計画に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| ③ | 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4 |
| ④ | 人事、給与に関する制度は整備されているか | 4 |
| ⑤ | 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか | 4 |
| ⑥ | 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 3 |
| ⑦ | 教育活動に関する情報公開が適切になされているか | 4 |
| ⑧ | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 4 |

【成果と課題】

- ・年度当初に理事長、校長により運営方針が出され、これに基づいて学校運営を実施している。
- ・経営会議によって事業の検討を実施している。
- ・経営会議を毎月実施してその時々に合わせて意思決定は効率的に機能している。
- ・給与等は学園の「給与規程」に基づいており整備されている。

【今後の改善策】

- ・HPを一新し、情報公開をより閲覧しやすくする。
- ・日常業務における諸問題を各担当から管理職に報告し、改善を行っていく。
- ・校内で使用しているS-wingという校内統一情報システムを職員間でさらに利用し情報共有の一助にする。
- ・コンプライアンス体制は経営会議等で対応する体制をさらに整える。

(3) 教育活動

| | 評価項目 | 評価 |
|---|--|----|
| ① | 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 |
| ② | 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 |
| ③ | 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 |
| ④ | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| ⑤ | 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 3 |
| ⑥ | 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 4 |
| ⑦ | 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 |
| ⑧ | 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか | 4 |
| ⑨ | 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 |
| ⑩ | 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 |
| ⑪ | 関連分野における 業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか | 3 |
| ⑫ | 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成 など資質向上のための取組が行われているか | 3 |
| ⑬ | 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 3 |

【成果と課題】

- ・教育課程編成委員会において、業界が必要とする技術・技能をヒアリングし、それを反映した教育を伺い、教育課程に反映している。
- ・業界のニーズを随時把握して育成人材像を決定し、授業内容にも反映している。
- ・学校が目標としている検定合格のために、講師間で授業内容を連携しており効果的な授業内容としている。
- ・教育課程編成委員会は6月と12月に実施し、年度反省を踏まえ、検討を重ねてカリキュラム編成をしている。

【今後の改善策】

- ・各種研修には積極的に参加し、指導に関する事例や学生対応の情報交換を職員間で行っていく。

- ・各学科の特色を踏まえながら、新たな資格への取り組みについて検討をする。
- ・講師間の授業連携についてさらに綿密に打ち合わせを行い、無駄のないように指導のレベルアップを図っていく。
- ・学生による授業評価は授業内容についてアンケートを実施しているので、これに基づいて指導の改善点を発見し授業内容に反映する。
- ・職員会議の中で資格対策についての議題を盛り込み、職員間で学生の資格取得への後押しを意識を高める。

(4) 学修成果

| | 評価項目 | 評価 |
|---|----------------------------|----|
| ① | 就職率の向上が図られているか | 4 |
| ② | 資格取得率の向上が図られているか | 4 |
| ③ | 退学率の低減が図られているか | 3 |
| ④ | 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3 |

【成果と課題】

- ・キャリアガイダンスの授業の内容をアップデートし、外部講師の授業や面談を多く取り入れ、学生の就職の意識向上に努めた。
- ・オンラインによる企業説明会や採用試験を行っている企業等については、オンラインを積極的に活用するよう努めた。
- ・学校外で実施されている企業説明会に就職希望者全員を会場まで連れていき参加させた。
- ・学校内で企業説明会を実施し企業とのめぐりあわせを大切にした。
- ・検定合格者や外部コンテスト入賞者に対して奨学金を出して激励している。
- ・信頼のおける有資格者のカウンセラーに相談しやすい環境を作った。
- ・学生の欠席、遅刻、早退を学籍管理システム S-wing で常に把握している。

【今後の改善策】

- ・早期に学校内企業説明会を企画し、複数回の実施を試みる。
- ・今以上に外部の組織（ハローワーク、総合人材チャレンジセンター、岐阜商工会議所、岐阜県産業人材課）等の力を借りて、授業内で現在の社会のニーズを教えていく。
- ・できるだけ多くの企業説明会に参加するように呼び掛ける。
- ・検定取得や外部コンテストで成果を上げた学生に対して奨学金を出して励ましているが今後は職員全員で報奨金手渡しの際に激励していく。
- ・欠席傾向のある学生に対し学生本人だけでなく親にも欠席状況をできるだけ密に連絡を取り合う。
- ・卒業生の進路追跡を充実するため、就職先との連絡・連携を更に進める。

(5) 学生支援

| | 評価項目 | 評価 |
|---|---|----|
| ① | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| ② | 学生相談に関する体制は整備されているか | 3 |
| ③ | 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか | 4 |
| ④ | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 |
| ⑤ | 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3 |
| ⑥ | 学生の生活環境への支援は行われているか | 4 |
| ⑦ | 保護者と適切に連携しているか | 4 |
| ⑧ | 卒業生への支援体制はあるか | 3 |
| ⑨ | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 3 |
| ⑩ | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 |

【成果と課題】

- ・履歴書作成やエントリーシート作成時は担当教員のもと実践的に就職活動に臨めるよう支援した。
- ・面接対応やポートフォリオ対策は管理職も含め全職員体制で支援する体制を作った。
- ・定期的に専任のカウンセラーが面談を行って学生の相談を受ける体制をとっている。
- ・学費支援制度として返済不要の「ニチビ特待生制度」と称する奨学金を支給する制度や学費納入が困難な学生に対し、保護者会が無利子で貸与する制度を用意している。
- ・国家試験や各種検定に合格した学生に対して、ランクに応じて報奨金を出す制度を作っている。
- ・年1回の健康診断を実施し、結果を学生に配布し管理している。
- ・保健室の設置、換気の徹底、正面玄関での非接触検温器の設置、衛生用品の無料配布品をトイレ内に設置する等、整備している。
- ・就職支援の一環として保護者と連絡を密にとっている。
- ・企業の必要とする人材を育てる教育課程を編成するため教育課程編成委員会にて意見をいただく体制をとっている。
- ・企業人を講師に迎え実社会のニーズと情報を学生に与える体制をとっている。

【今後の改善策】

- ・進路意識を早期から持たせるため、キャリアガイダンスを1学年前期からカリキュラムに盛り込んだ。
- ・職業人意識を育むよう外部の講師の導入を図っている。(ハローワーク、商工会議所、岐阜県産業人材課等)

- ・就職活動を一層進めるために岐阜県総合人材チャレンジセンターと連携を結んだので更に利用していく。
- ・学内の経済的な支援制度は充実しているので、学生に利用できるよう認知を進める。
- ・今年度、高校と連携して職業教育の一環として模擬授業を実施したのでさらに連携できる高校には周知する。
- ・卒業後も転職相談などがあった場合は必要に応じて、丁寧に対応する。

(6) 教育環境

| | 評価項目 | 評価 |
|---|--|----|
| ① | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3 |
| ② | 防災に対する体制は整備されているか | 4 |
| ③ | 学内外の学習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3 |
| ④ | 講義室、実習室の管理は適切に行われているか | 3 |

【成果と課題】

- ・各学科のカリキュラムに基づき、新型のハイスペックなパソコンを導入して複数の画像処理も高速でできるようになった。
- ・毎年、学生が使用するパソコンについては周辺機器も含め新しいものを導入している。
- ・学生がノートパソコンを購入する際は、学校から支援金として 50,000 円を補助している。
- ・毎年 1 回消防署と連携をして避難訓練を実施している。学生の速やかな避難と命の大切さ・安全意識を持たせることを目的としている。
- ・放課後、学習したい学生には施設を開放している。使用後の施設の管理は学生とともに職員が適切に管理している。
- ・施設に管理については職員によって適切に維持、管理をしている。

【今後の改善策】

- ・本校は「指定避難所」になっているので、学生に周知したい。
- ・火災、地震等の災害時の避難経路を教室内に掲示し、徹底を図る。
- ・防災備品の充実を図る。

(7) 学生募集と受入れ

| | 評価項目 | 評価 |
|---|-----------------------------|----|
| ① | 入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか | 4 |
| ② | 募集要項の内容は適切か | 4 |
| ③ | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 |
| ④ | 学納金は妥当なものとなっているか | 4 |

【成果と課題】

- ・「高校ガイダンス」「会場ガイダンス」「学校説明会」においては入学者が知りたい情報を的確に提供している。
- ・入学案内・募集要項は毎年更新され必要な情報を志願者に提供している。
- ・資格取得、就職のことなど「学校案内」「ホームページ」で掲載されていると同時にオープンキャンパス時の質問に的確に回答している。
- ・教育成果は最新のものを「ホームページ」等で公表している。
- ・学納金は入学者の経済的負担を軽減するため適正に設定し、されに各種免除制度を設けている。

【今後の改善策】

- ・SNS、Instagramによる本校の授業風景や行事の様子等をタイムリーに志願者に届くように工夫する。
- ・卒業生の声もきちんと届くようなパンフレット作りを更に計画する。
- ・諸経費の見直しを実施し、学費分納や延納による相談を個々の家庭の状況を鑑みながら、少しでも学生が入学して夢をかなえられるように対応していく。

(8) 財務

| | 評価項目 | 評価 |
|---|--------------------------|----|
| ① | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 |
| ② | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 |
| ③ | 財務について会計監査が適正に行われているか | 4 |
| ④ | 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |

【成果と課題】

- ・借入金はなく、安定した経営を行っているが学生募集において厳しい現状が続いている。
- ・教育活動上必要な予算をしっかりと把握しながら運営を進めている。
- ・予算収支計画は次年度の事業計画案作成時に、経営会議参加者と協議のうえ作成し、理

事会・評議委員会で承認をとっている。

- ・会計監査は毎年適正に実施し、理事会・評議委員会に報告している。
- ・今年度、岐阜県子ども・女性部 私学振興課による私立学校会計指導検査を受けたが、改善等の指摘はなかった。

【今後の改善策】

- ・財務情報公開の体制整備を進めホームページに公開していく。
- ・今後も学生募集を活発化しながら学校法人会計基準を遵守し中長期的にも財務基盤が盤石となるよう運営をしていく。
- ・費用の使いどころを見直し、学生に対する教育活動の充実に結び付く投資を検討する。

(9) 法令等の遵守

| | 評価項目 | 評価 |
|---|-------------------------------|----|
| ① | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| ② | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 3 |
| ③ | 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 3 |
| ④ | 自己評価結果を公開しているか | 4 |

【成果と課題】

- ・法令・設置基準を遵守しており、専門学校として適正な運営をしている。
- ・法令や設置基準改正等はその都度職員に周知している。
- ・志願者、学生、卒業生、教職員、その他学校関係者の個人情報は「個人情報保護方針」を定め管理している。
- ・各部署のパソコン、サーバーも部外者が扱えないようにセキュリティ対策を施している。
- ・自己点検・自己評価を定期的実施していく、また学校関係者評価を年度内で1回実施する。

【今後の改善策】

- ・自己評価結果をもとに、年度内に振り返りの機会を設け、情報公開を行う。
- ・入学希望者、学生、卒業生、教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のため対策がとられているかという点に対しては必要な対策や正確な個人情報の把握の強化が必要である。
- ・毎年毎年、ネットワークシステムが更新されているか確認をする。

(10) 社会貢献

| | 評価項目 | 評価 |
|---|---|----|
| ① | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献等を行っているか | 4 |
| ② | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3 |
| ③ | 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 3 |

【成果と課題】

- ・公開講座として本校教室を会場として地域住民を対象に WORD・EXCEL 講座を夏季休業中に募集、実施したところ盛況を博した。
- ・公開講座として本校教室を会場として小中学生を対象に基本的なプログラミング体験としてゲーム作り体験を経験してもらった。

【今後の改善策】

- ・教職員に負担のかからない範囲で計画・実施できるようにする。
- ・社会人に必要な力を身につける目的でボランティア活動の意義を学伝える機会を設ける。